

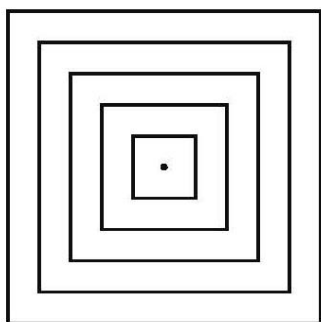
### 3 全国試験（2017）

#### 問 題

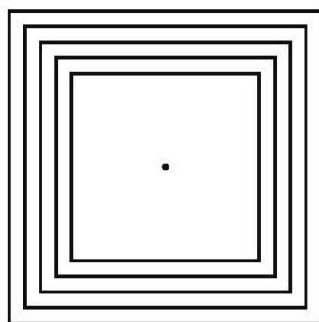
立体の形を伝える方法のひとつに、同じ高さにある点を結んだ線であらわす等高線図法がある。図A、B、Cは、3つの立体A、B、Cの形を等高線で表している。なお外側の線は底面を表し10cm×10cmの正方形で、高さはいずれも10cmである。

立体Aは底面から4cmまでは青く着色された不透明な樹脂、その上は透明な樹脂で作られている。立体Bは底面から8cmまでは白く着色された不透明な樹脂、その上は赤く着色された不透明な樹脂で作られている。立体Cは底面から2cmまでは透明な樹脂、その上は黄色く着色された樹脂で作られている。

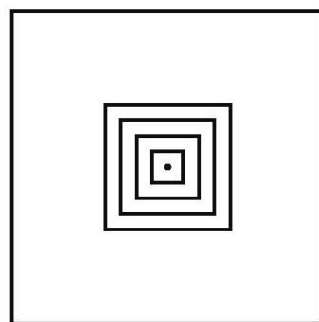
これらの3つの立体がバランス良く白い平面上に置かれている。この状態を想像し、描画条件をよく読み、解答用紙（画用紙）に描きなさい。



図A



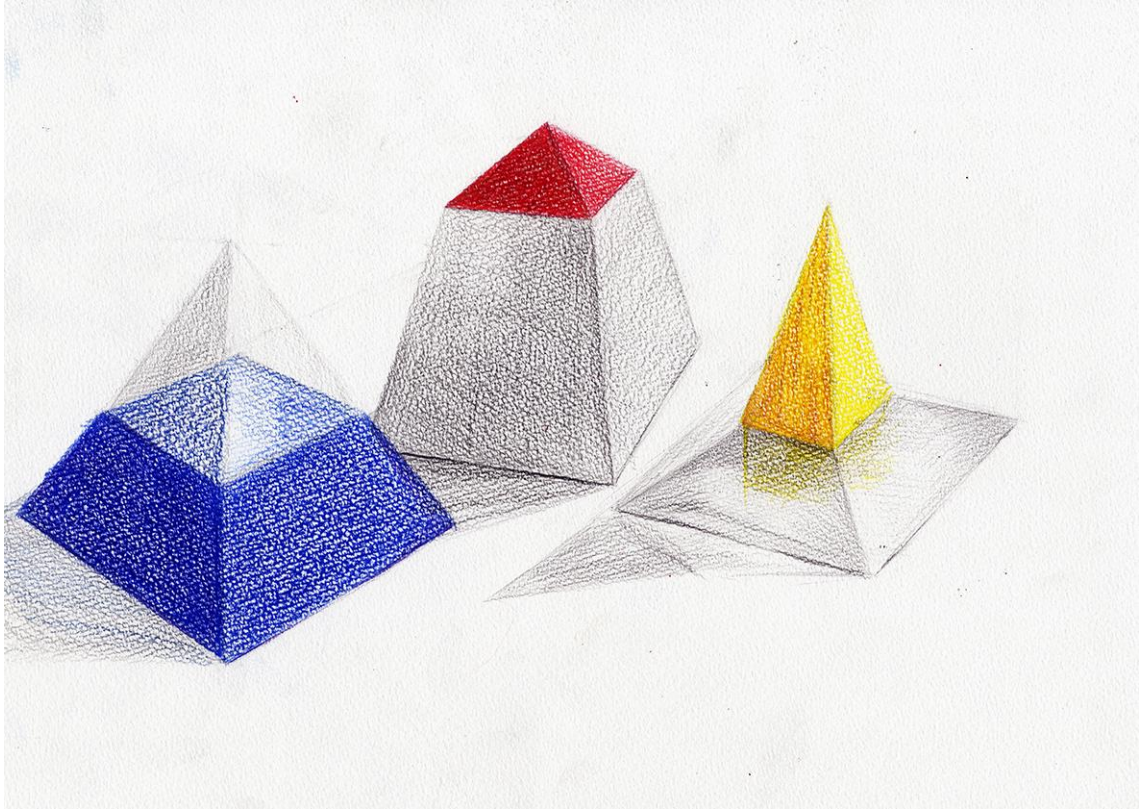
図B



図C

#### <描画条件>

- 1) 画用紙の裏面に受験番号・氏名を記入し、表面・横位置で描きなさい。
- 2) 鉛筆や色鉛筆を使用し、フリーハンドで描きなさい。
- 3) 光の方向は自由に設定してよい。
- 4) 与えられた条件以外は自由に設定してよい。



<描画のポイント>

- 等高線図法を理解し，立体がイメージできている。
- 着色部分と透明部分の位置を正しく把握し，描き分けられ，立体感が出ている。
- 3つの立体が同じ平面上にバランスよく配置されている。